

当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。	
研 究 番 号	— 25 研 - 19
研 究 課 題 名	高齢者におけるシロリムス溶出性ステントのエベロリムス溶出性ステントに対する臨床転帰の評価に関する研究
当院の研究責任者（所属）	小向 賢一（循環器内科）
他の研究機関及び各施設の 研究責任者	和歌山県立医科大学循環器内科 講師 尾崎 雄一
研 究 の 目 的	経皮的冠動脈形成術は、狭くなった冠動脈を血管の内側から拡張するために行う低侵襲的な治療法で、ステントという拡張可能な小さいメッシュ状の金属の筒を血管に留置して、血管の開通性を保持し再閉塞を予防します。そのステントには多くの種類があり、それぞれコーティングされている薬剤の種類やメッシュの形状などで特性があります。その中でも生体吸収性ポリマーという素材を使用しているステントは留置された血管が再度狭くなることを抑制する可能性が示唆されています。 これまで生体吸収性ポリマーを使用し、シロリムスという炎症を抑える薬剤を塗布しているステントの有効性や安全性は報告されています。ただこれまでの報告では対象者の年齢は 80 歳以下でした。今回、われわれは 80 歳以上の患者さんにおいてその有効性が証明されているかどうかを検討する後ろ向き観察研究を施行します。この結果をもとに今後の日本高齢化社会でのカテーテル治療に新しい選択肢を提案することがその研究意義としています。 本研究の目的は、80 歳以上の患者さんにおいて生体吸収性ポリマーのシロリムス溶出性ステントが安全性や有効性が数多く報告されているエベロリムス溶出性ステントと比べ、劣っていないことを検討し、明らかにすることで、医学・医療の発展に寄与することです。
調査データの該当期間	2018 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31
実 施 期 間	承認日～2027 年 3 月 31 日まで
研究の方法（対象となる方）	当院において 2018 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 までの期間中に、経皮的冠動脈形成術を受けられた 80 歳以上

	の患者さん
試料/情報の他機関への提供	過去の診療録等のデータを収集し、和歌山県立医科大学附属病院へ提供し、各薬剤溶出性ステントの有効性や安全性、心血管イベントおよび予後との関係について調査を行う。
個人情報の取り扱い	利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。
本 研 究 の 資 金 源	本研究は保険診療の範囲内ならびに公的研究費による自主研究です。利益相反はありません。
お 問 い 合 わ せ 先	和歌山ろうさい病院 循環器内科 小向 賢一 〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1 電話：073-451-3181 FAX：073-452-7171
備 考	